



# 森とおる NEWS

住所 南大塚 2-6-12  
電話 03(6912)0135

## 戦闘機の爆買いか？ それとも暮らし優先か？

税金の使い方を変えれば…

最新鋭ステルス戦闘機  
F35A



1機 116億円

- ➡ ① 保育所(1人あたり建設費約285万円) 4000人分
- ➡ ② 特別養護老人ホーム(1人あたり建設費約1305万円) 900人分
- ➡ ③ 学校へのエアコン設置(1教室あたり約290万円) 4000教室



実現可能

**F35戦闘機 147機を大量購入**

総額1.5兆円以上の購入費を投じる高額兵器のF35ステルス戦闘機。維持管理費等を含めると6兆円超と言われています。今年4月、自衛隊の訓練中に太平洋に墜落した事故の原因について、政府から未だに納得いく説明はありません。重大な欠陥を抱えた戦闘機の爆買をやめれば、保育所、特別養護老人ホームの増設が実現可能となり、福祉ぐらしを大幅に拡充することができます。

**< F35 戦闘機 >**  
米ロッキード・マーチン社製  
A型：米空軍仕様  
B型：海兵隊仕様  
C型：海軍仕様

昨年6月に966件の欠陥が見つかったことが判明。同9月に米海兵隊機 F35B が墜落。安倍政権は昨年1月、通常離着陸 A 型を青森県三沢基地に配備。B 型は短距離の離陸と、垂直着陸が可能で“護衛艦いずも”を空母に改修し艦載機にする計画。これに憲法9条違反と批判が噴出。

①保育所の増設  
定員90人の認可保育所1か所あたりの国費負担が1億2000万円ですから、90か所が増設できまふ。福祉医療機構が発表した2017年度の調査によると、補助金込みの建設費は定員一人あたり285万1000円です。よって4000人分を確保することが可能です。

②特別養護老人ホームの増設  
昨年12月、安倍政権はトランプ大統領いいなりに、1機116億円(維持管理費300億円以上)のF35Aを105機、F35B(価格未定)を42機、合わせて147機の購入を決定しました。F35Aは既に三沢基地に事故機を含め13機が配備中です。今こそ、この税金を福祉ぐらしに振り向けることが必要です。

### 衝撃！米国が選ばない欠陥機

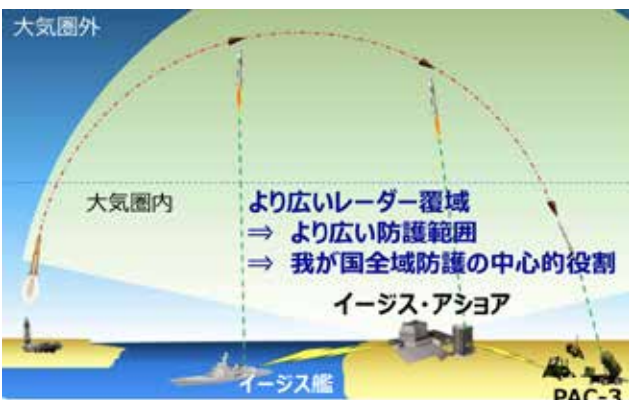
今年3月、米国は来年度からの5年間で最新鋭のF35ではなく、40年以上も前に開発したF15戦闘機を80機調達すると発表し世界中に衝撃が走りました。その理由を、上院軍事委員会でダンフォード統合参謀本部議長は「F15はF35よりも価格は少し安い程度だが、維持管理費が半分以下で済み、何と云っても寿命が2倍以上だ」と説明しました。

また、米会計検査院は「F35は昨年指摘した深刻な欠陥が改善されていない。これは今後数年解決します。」

③学校エアコン設置  
日本共産党の調査結果、エアコン設置を決めた自治体の3万教室分の設置費用は、一教室あたり平均約290万円でしたので、4000教室分を確保できるとができます。

このように戦闘機3機分の税金の使い方を変えるだけで、これだけ多くの保育所、特養ホームの建設、教室のエアコン設置ができて安心の福祉政策を進めることができます。

### 陸上イージス2基に6000億円超



戦闘機写真とイージス作成画は防衛省・自衛隊HPより

陸上配備型ミサイル迎撃システム「イージス・アショア」を巡り候補地住民の反対が続いています。政府は北朝鮮対策と言いますが、米領グアムなどに向かうミサイル迎撃を想定したもので、ムダな浪費はやめるべきです。

「F35は他国に売りつけない問題」と発表しました。こうした中、6月に米軍事専門誌ディフェンス・ニュース(電子版)は「主要な欠陥が13にのぼり、操縦士の安全に危険をもたらす」としました。それなのにトランプ大統領はF35を他国に売りつけない問題と発表しました。けようと、アメリカいなるの安倍首相は爆買の方針を変えようとしません。自衛隊の墜落事故は、原因が特定できていません。この爆買は対日貿易赤字解消が優先され、国民の利益や操縦士の命と安全は重視されていません。